平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　株式会社 ウッドワン　　上場取引所　東 大
コード番号　7898　URL　http://www.woodone.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中本　祐昌
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 藤田　守　TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	47,496	△2.7	2,771	△4.3	1,628	△17.5	1,124	△16.9
24年3月期第3四半期	48,822	1.6	2,897	25.2	1,973	37.3	1,351	534.1

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　3,444百万円　(236.6%)　24年3月期第3四半期　1,023百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.09	―
24年3月期第3四半期	28.97	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	96,690	34,325	33.7
24年3月期	94,343	31,226	31.6

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　32,604百万円　24年3月期　29,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	3.75	―	3.75	7.50
25年3月期	―	3.75	―		
25年3月期(予想)				3.75	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,300	0.8	3,600	6.0	1,700	△14.1	900	△62.7	19.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	49,209,846 株	24年3月期	49,209,846 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,545,457 株	24年3月期	2,544,556 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	46,664,687 株	24年3月期3Q	46,667,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の緩やかな復興需要や公共投資の増加等に加え、昨年後半には政権交代による経済政策への期待感から円安基調、株価の回復が見受けられました。しかし、欧州債務問題等を背景とした欧米や新興国経済等の海外景気の下振れに加え、増税、雇用不安、為替相場、外交問題など依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

住宅業界におきましては、復興支援・住宅エコポイント制度やフラット35Sエコの金利優遇、住宅ローン減税などの住宅取得支援策に加え、東日本大震災の復興需要等により、新設住宅着工戸数は、第２四半期頃にはやや鈍化したものの、年間を通じては回復傾向にありました。

当社グループは、このような環境の中で、前年度は東日本大震災後の仮設住宅を含む一過性の売上高があったことや、連結対象であった米国子会社の譲渡による売上減少並びに販売価格の下落等の影響がありましたが、当第３四半期連結累計期間においては新規顧客の開拓や販売数量の増加による売上高増強を図ると共に、更なるコスト削減に取り組みました。

また、将来の人口・世帯数減少による新設住宅着工戸数の減少を見据え、『新しい商品・新しい発想・新しい提案での新しい顧客開拓と需要創造』を抜本的営業革新の基本方針に掲げ、森林認証(※)を取得しているニュージーランドの森林資源を活用したピノアースシリーズを中心に、新築市場の拡販に加えてリフォーム市場の開拓を目指しています。

木質建材では、「ピノアースシリーズ」や同シリーズからデザインを新たに厳選し、求めやすい価格とした新製品群「ナチュラルセレクション」などのFSC認証製品、ソフトアートシリーズの「シンプルセレクション」、認証基材を使用した環境配慮型のフローリングなどの売り上げが伸びました。また、エコリフォーム用として無垢フローリング「ピノアース6㎜厚タイプ」、内窓で国内初のFSC認証製品である無垢の木製内窓「MOKUサッシ」、断熱改修を手軽に実現可能とするリフォーム用断熱改修パネル「あったかべ」、簡単に無垢材の素材感が味わえる無垢カーペット「ぴたゆか」などの拡販にも努めました。

ソフトアートシリーズには、存在感あふれる立体的なクラフトデザインで個性的な空間づくりを提案する「Cタイプ」やワンプライスで選べる「シンプルセレクション」の新デザインを投入しました。また、内装床材では、厚貼りフローリングの手作り工芸調床材コンビットクラフトシリーズなどを発売しました。

さらに、地域工務店の「長期優良住宅」の認定取得サポート及び、平成24年度創設の国交省補助事業「地域型住宅ブランド化事業」における各地域事業グループの申請支援、「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」におけるエネルギー消費削減量算出等の申請支援を行うと共に、既存住宅の改修においても長寿命化に向けた性能向上リフォームのサポートシステムの構築などを行い、地域工務店等への支援を進めてきました。

住宅設備機器では、木質建材とトータルコーディネートできることで好評のシステムキッチン「スイージー」の無垢の扉にオークとメープルの樹種を加えて、より幅広いインテリアイメージとのコーディネートを可能にしました。

この結果、連結売上高は、47,496百万円（前年同期比2.7％減）、営業利益2,771百万円（前年同期比 4.3％減）、経常利益1,628百万円（前年同期比 17.5％減）、四半期純利益1,124百万円（前年同期比16.9％減）となりました。なお、特別利益の為替差益にはニュージーランド子会社の外貨建借入金の為替評価差益421百万円を計上しました。また、為替変動による損益に与える影響を縮小させる目的で未決済為替予約取引の一部を解約したことで、営業外費用に計上した為替差損244百万円は未決済為替予約分の前期戻入益298百万円を含んでおり、特別損失には未決済為替予約解約損269百万円を計上しています。

（※）国際的な審査機関FSC®（森林管理協議会）のFM認証（森林管理認証）とCoC認証（加工・流通過程の管理認証）の総称／ライセンス№FSC-C043904

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が2,347百万円増加、負債が751百万円減少、純資産が3,099百万円増加しました。主な内訳として、資産は、たな卸資産590百万円増加、為替予約（資産）643百万円増加、有形固定資産1,128百万円増加によるものです。負債は、繰延税金負債544百万円増加、引当金363百万円減少、為替予約（負債）877百万円減少によるものです。有利子負債の内訳は短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が8,796百万円増加、長期借入金が9,171百万円減少、社債(1年内返済予定の社債を含む)が300百万円増加したものです。純資産は、繰延ヘッジ損益が813百万円増加、為替換算調整勘定が1,064百万円増加、少数株主持分が344百万円増加したものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、当第３四半期累計期間及び今後の動向を検討した結果、現時点において平成24年11月2日付「平成25年3月期　第２四半期決算短信」で発表しました業績予想から変更はありません。なお、平成24年12月25日に開示しました「海外連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」の通り、株式譲渡が連結業績に与える影響等につきましては、必要に応じて速やかに開示します。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微です。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,835	4,764
受取手形及び売掛金	8,355	8,656
商品及び製品	5,219	5,966
仕掛品	2,314	2,219
原材料及び貯蔵品	7,649	7,586
繰延税金資産	426	184
為替予約	－	643
その他	682	844
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	29,462	30,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,246	9,129
機械装置及び運搬具（純額）	8,160	7,907
土地	11,067	11,160
立木	20,816	22,167
その他（純額）	2,069	2,122
有形固定資産合計	51,359	52,487
無形固定資産	584	467
投資その他の資産	12,937	12,888
固定資産合計	64,880	65,843
資産合計	94,343	96,690
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,261	5,241
短期借入金	19,350	28,147
1年内償還予定の社債	3,000	－
未払法人税等	438	200
引当金	367	10
為替予約	877	－
その他	2,899	3,307
流動負債合計	32,194	36,907
固定負債		
社債	－	3,300
長期借入金	27,022	17,850
繰延税金負債	2,034	2,578
引当金	1,258	1,251
その他	606	476
固定負債合計	30,922	25,457
負債合計	63,116	62,364

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	16,965	17,736
自己株式	△2,131	△2,131
株主資本合計	29,974	30,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△105	△7
繰延ヘッジ損益	△1,071	△258
為替換算調整勘定	1,060	2,124
その他の包括利益累計額合計	△116	1,859
新株予約権	229	236
少数株主持分	1,139	1,483
純資産合計	31,226	34,325
負債純資産合計	94,343	96,690

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	48,822	47,496
売上原価	32,551	31,346
売上総利益	16,270	16,150
販売費及び一般管理費	13,373	13,378
営業利益	2,897	2,771
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	72	31
受取賃貸料	112	116
その他	216	192
営業外収益合計	420	359
営業外費用		
支払利息	669	583
売上割引	356	354
為替差損	22	244
その他	296	320
営業外費用合計	1,344	1,502
経常利益	1,973	1,628
特別利益		
固定資産売却益	17	8
為替差益	－	421
投資有価証券売却益	－	7
子会社株式売却益	526	－
その他	4	0
特別利益合計	549	438
特別損失		
固定資産売却損	0	12
固定資産除却損	11	5
為替差損	438	－
投資有価証券評価損	4	43
事業再編損	110	－
為替予約解約損	－	269
その他	23	28
特別損失合計	589	359
税金等調整前四半期純利益	1,933	1,707
法人税、住民税及び事業税	99	221
法人税等調整額	417	304
法人税等合計	516	526
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,181
少数株主利益	64	57
四半期純利益	1,351	1,124

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	98
繰延ヘッジ損益	△20	936
為替換算調整勘定	△270	1,228
その他の包括利益合計	△393	2,262
四半期包括利益	1,023	3,444
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,090	3,100
少数株主に係る四半期包括利益	△67	344

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。